

勇気

作詞 J'Soul (浅羽一)

遠回りして歩き続けてきた日常 すれ違い恐れて誤魔化してばかりいたいつも
もう少し このままでと 先延ばしにしてきた日々はいつの間にか
残像^{まぼろし}だけを置いて私の前から幸せを消した
眼を閉じれば今も 大切な笑顔が浮かんでくるのに
伸ばした手はあなたがいない現実を確かめるだけ
ねえ、誰か教えて欲しい
見えている光景はいつか目にした思い出なのか
それとも単なる幻想^{ゆめ}なのか

良い子の振りして演じきっていた友情 抱き締めたい背中、気持隠してそっと押した
大丈夫 分かっているから 傍にいられるならと理解者を気取って
本当は誰よりもあなたに分かって欲しかったのに
あの曲を聴けば今も 気取らない声が聞こえてくるのに
呼び掛けに振り向けば静かな部屋で私は一人
ねえ、誰か教えて欲しい
下らない会話の奥に秘めていた大好きという言葉
伝えていればどうなってたか

もしもいつか未来の私が 再び過去の私と出会ったなら
きっと私は今の想いを伝えるだろう
次にあなたに会う時はちゃんと 私らしく笑えているように

もしもいつか未来の私が 再び過去の私と出会ったなら
きっと私は今の想いを伝えるだろう
やがて出会える大切な誰かと 私らしく笑え合えるように